

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

協議会名:阿波市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性と公共交通に関する現況調査</li> <li>・市民ニーズ等の調査分析及び検討</li> <li>・地域公共交通のあり方の検討</li> <li>・地域公共交通運行概要の検討</li> <li>・地域公共交通網形成計画のとりまとめ</li> </ul> <p><b>【結果概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的条件や人口特性、商業施設、医療機関、公共施設等の分布状況を把握した。</li> <li>・路線バス沿線の利用者や通学者、高齢者の現状を調査し、既存調査結果と併せて、移動実態及びニーズを把握した。</li> <li>・公共交通に関する問題点及び課題の整理を行い、上位・関連計画との整合をとりながら、市民ニーズを踏まえた公共交通のあり方を検討した。</li> <li>・多様な公共交通モードについての導入可能性を検討し、今後の公共交通サービス水準を検討するための基礎データを収集した。</li> <li>・これまでの調査結果や活性化協議会での検討結果を基に、地域公共交通網形成計画(案)を作成した。</li> </ul> <p><b>【今後の予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通網形成計画(案)について、パブリックコメントを実施し、市民の方々より意見をいただき、必要により修正を行ったのち、協議会において了承を得る。</li> </ul>	<p>A</p> <p>懸案事項であった公共交通空白地の解消や交通弱者の移動等への対応について、関係者との協議を行うことで、問題・課題の解決に向けた取り組みについて検討できたことから、事業は適切に実施されている。</p>	<p>交通弱者をはじめ市民誰もが利用できる新たな交通モードを導入することで、公共交通空白地を改善し、市内の主な外出先となる施設への移動の利便性向上を図る。また、市外の鉄道等へのアクセスも確保することで、幹線へ接続する支線的な役割を担い、通学者への対応やスクールバス・路線バスの見直しを行うことで事業のスリム化を図り、効率的な公共交通網の形成を目指す。</p> <p>また、地域住民や関係者との協働による意識の高まり等により、維持存続し続ける公共交通の実現を目指す。</p>